

<http://www.asmo1.co.jp>



Corporate Presentation

2019.6.10

2019年3月期

決算説明

Code:2654

 **株式会社アスモ**

商号

～活力ある企業風土を育成する～

アスモ株式会社

ASMO CORPORATION

事業方針

超高齢化社会を迎える日本において、
多方面から必要とされる企業を目指して
各事業の「**ストロングポイント**」を的確に見極め
「**事業間のシナジー**」を最大限に発揮し、社会発展に貢献します。

企業概要

2019年3月末現在



設立
資本金
発行済株式数

1975年4月26日（3月決算）
23億2,327万円
15,145,175株（自己株式 1,124,420株）

代表取締役
主要株主

代表取締役社長 長井 尊（2012年10月就任）※（株）Persons Bridgeの元代表
※（株）Persons Bridge 58.4%（株）ベストライフ 10.9% 長井博實 7.7% 福山良二 1.2%

収益セグメント

- 食肉卸売事業（①食肉の輸出入②食肉、食肉加工品の販売）
- 給食事業（介護施設、病院、事業所、学校などに向けた給食の提供）
- 介護事業（①訪問、居宅介護事業所の運営②有料老人ホームの運営）
- 外食(海外)事業（香港における外食店舗の運営）
- その他（①グループ会社の統制・管理、不動産賃貸 ②管理型信託商品の販売
③少額短期保険商品の販売 ④台湾における外食店舗の運営）

連結子会社
本社
連結従業員

12社 ※詳細はP3をご参照
【本社】東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル25階（2014年4月 大阪市住之区から本社移転）
1,499名
本社17名 食肉卸売事業15名 給食事業504名 介護事業782名 外食事業169名 その他事業12名

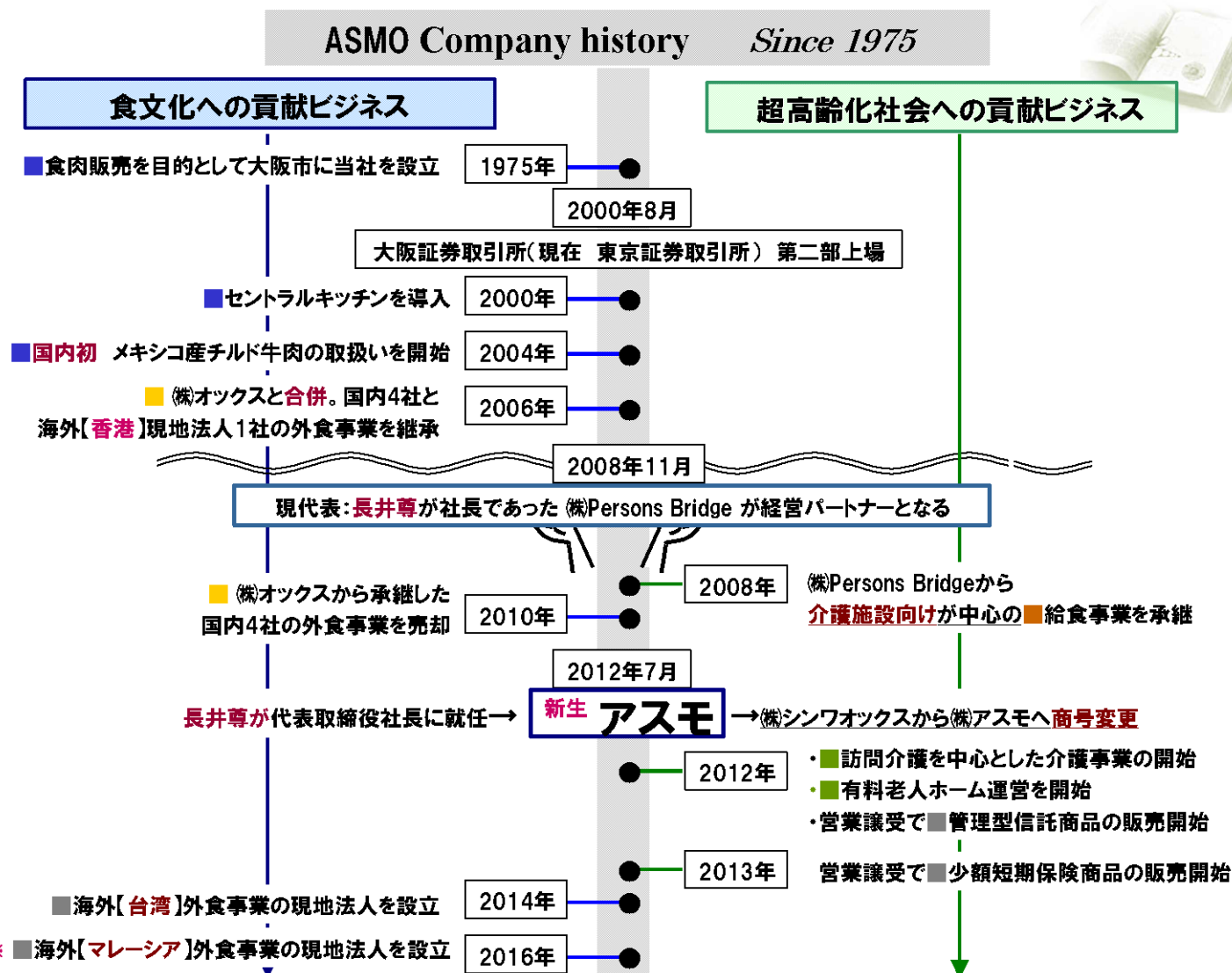
主要取引先

（株）ベストライフ 丸大フード(株) 四国物産(株)（株）ハーモニック 各種医療機関 各種学校 その他社員食堂



“食文化の貢献”事業に加えて、2012年から“超高齢化社会への貢献”事業を展開中

- 食肉卸売事業
- 給食事業
- 介護事業
- 外食店舗事業



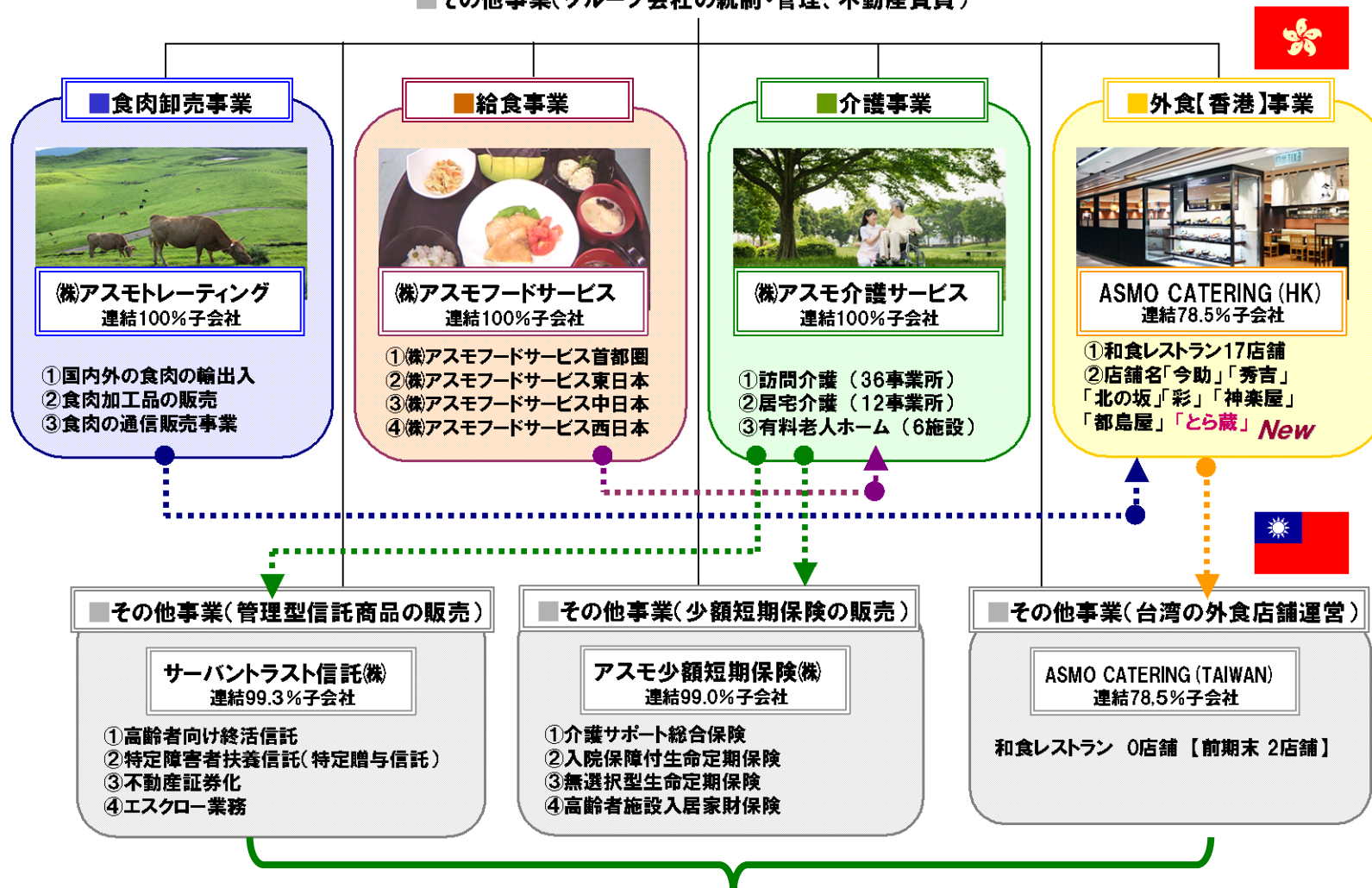
2013年4月～純粋持株会社体制

●……【事業間のシナジー効果】……▶

アスモ

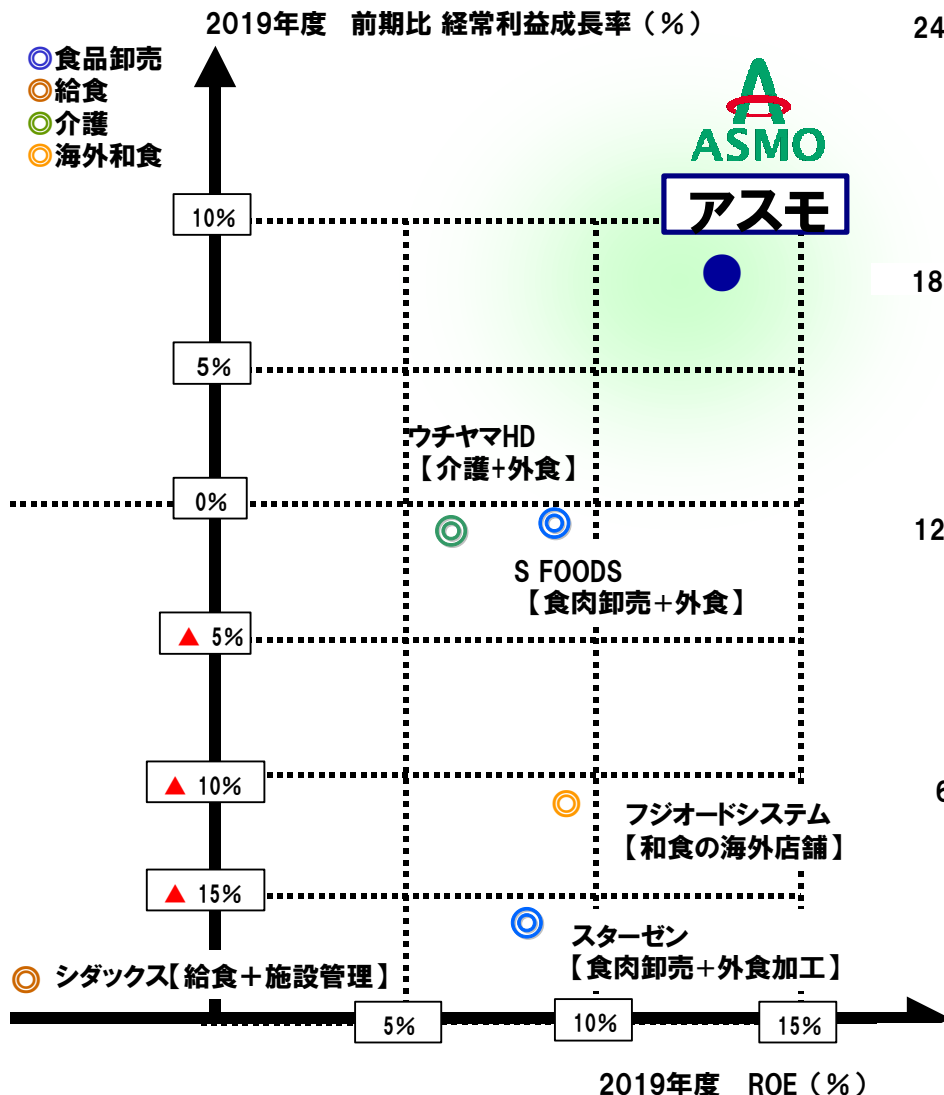
2019年3月末現在

■ その他事業(グループ会社の統制・管理、不動産賃貸)

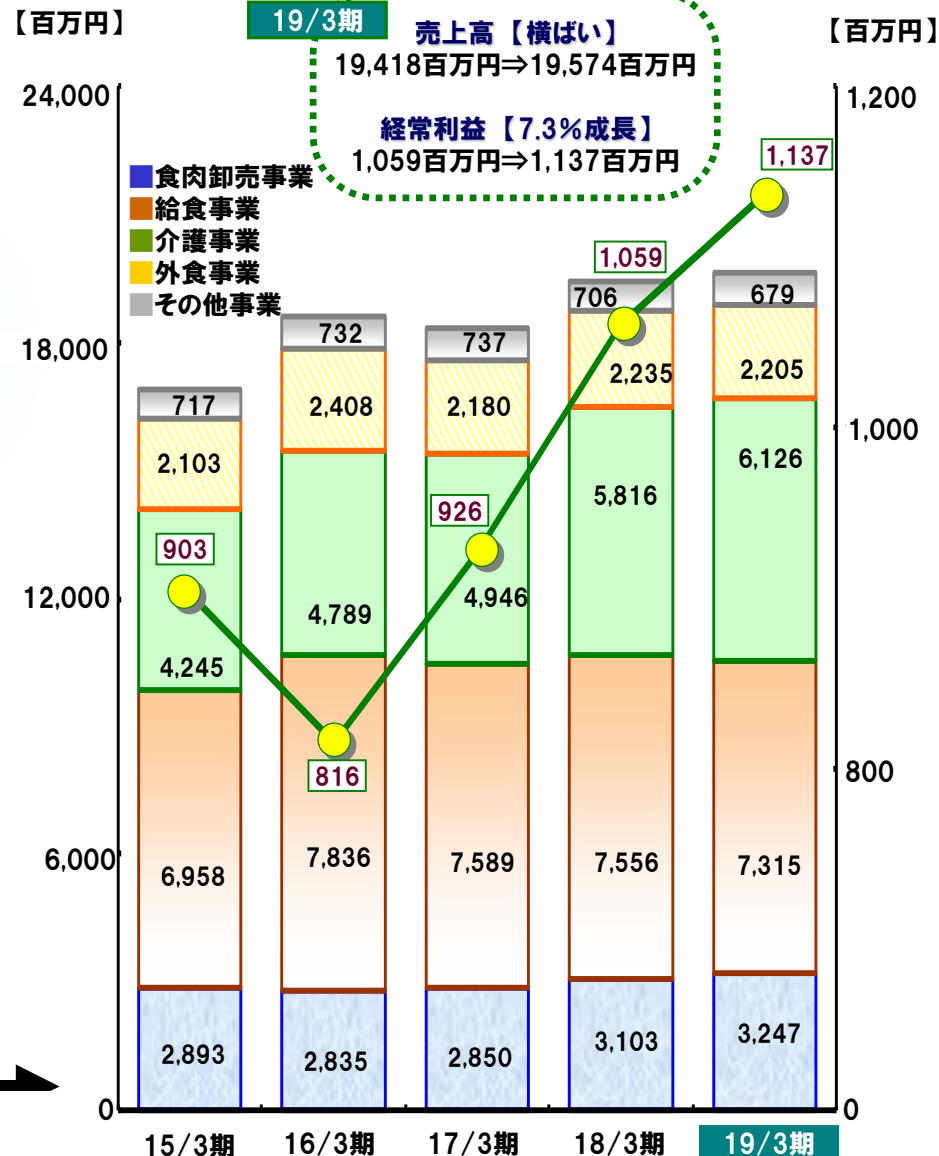


各事業の“ストロングポイント”を的確に見極め、“各事業間のシナジー”を最大限に発揮

2019年度 経常利益成長率【縦軸】とROE【横軸】 （複合型事業）他社比較【連結ベース】



売上高【左軸】と経常利益【右軸】の推移



2019年3月期 前年同期比較

売上高	: 0.8%成長	19,574百万円【前年同期 19,418百万円】
営業利益	: 4.5%成長	1,120百万円【前年同期 1,072百万円】
当期利益	: 9.2%成長	681百万円【前年同期 623百万円】

19年3月期 セグメント別売上高

単位:百万円 (切り捨て)	18/3期	19/3期	前年同期比
■食肉卸売事業	3,103	3,247	4.7%
■給食事業	7,556	7,315	▲3.2%
■介護事業	5,816	6,127	5.3%
■外食(香港)店舗事業	2,235	2,205	▲1.4%
■その他事業	706	679	▲3.8%
売上高	19,418	19,574	0.8%

■メキシコ産牛肉の関税低下。販売価格への還元が高評価

■不採算受託施設の契約解除で減収

■有料老人ホーム施設の入居率上昇

■香港の家賃高騰の影響。
百貨店店舗からロードサイド店舗へ移行

■その他事業 外食(台湾)店舗事業の2店舗閉鎖

19年3月期 セグメント別営業利益率

期末ベース	18/3期	19/3期	増減
■食肉卸売事業	1.5%	2.0%	0.5%
■給食事業	5.6%	7.2%	1.6%
■介護事業	12.4%	11.3%	▲1.1%
■外食(香港)店舗事業	▲0.9%	▲2.6%	▲1.7%
■その他事業	7.0%	8.7%	1.7%
営業利益率	5.5%	5.7%	0.2%

■19/3期第3Q以降 通信販売事業が好調

■不採算受託施設の契約解除の効果

■介護事業

①2018年4月 介護保険法改正で訪問介護の収益率低下

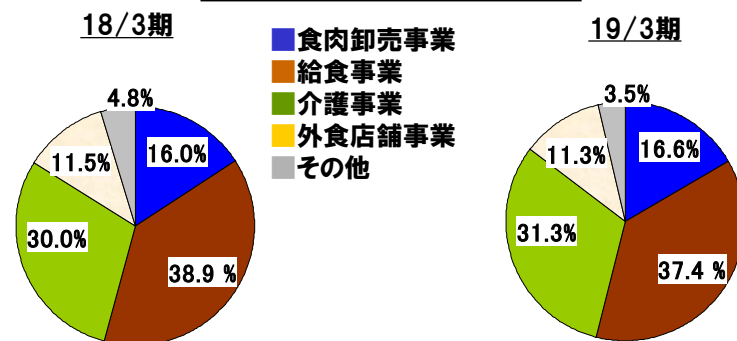
②『離職率低下プロジェクト』で採用費用の削減効果

■店舗のスクラップ&ビルド費用の増加

■少額短期保険事業『転ばぬ先の杖プラス』が高評価

単位:百万円 (切り捨て)	18/3期	構成比 (%)	19/3期	構成比 (%)
■食肉卸売事業	3,103	16.0%	3,247	16.6%
■給食事業	7,556	38.9%	7,315	37.4%
■介護事業	5,816	30.0%	6,127	31.3%
■外食店舗事業	2,235	11.5%	2,205	11.3%
■その他事業	706	4.8%	675	3.5%
売上高	19,418	100.0 %	19,574	100.0 %
売上原価	14,746	75.9%	14,926	76.3%
売上総利益	4,672	24.1%	4,648	23.7%
販売管理費	3,600	18.5%	3,528	18.0%
営業利益	1,072	5.5%	1,120	5.7%
営業外収益	16	0.0%	27	0.1%
営業外費用	29	0.1%	10	0.0%
経常利益	1,059	5.5%	1,037	5.8%
特別利益	0	0.0%	0	0.0%
特別損失	66	0.3%	35	0.1%
税金等調整前当期純利益	992	5.1%	1,101	5.6%
法人税・住民税及び事業税 法人税調整額・非支配株主損益	368	1.8%	420	2.1%
当期純利益	623	3.2%	681	3.3%

セグメント別売上高の構成比



労務費率・人件費率(対売上高比率)

単位:百万円 (切り捨て)	18/3期	構成比 (%)	19/3期	構成比 (%)
労務費(売上原価)	6,830	35.2%	7,065	36.1%
人件費(販売管理費)	1,446	7.4%	1,451	7.4%
合計	8,276	42.6%	8,517	43.5%

単位:百万円 以下切り捨て

【資産の部】	18/3期	19/3期	増減
流動資産合計	6,188	6,879	691
固定資産合計	1,435	1,469	33
資 産 合 計	7,623	8,348	724

(単位:百万円)	18/3期	19/3期	増減
現金及び預金	3,472	4,295	822
受取手形・売掛金	2,100	2,036	▲63
商品・貯蔵品	316	270	▲45

【負債の部】	18/3期	19/3期	増減
流動負債合計	2,358	2,523	165
固定負債合計	227	240	13
負 債 合 計	2,585	2,764	178

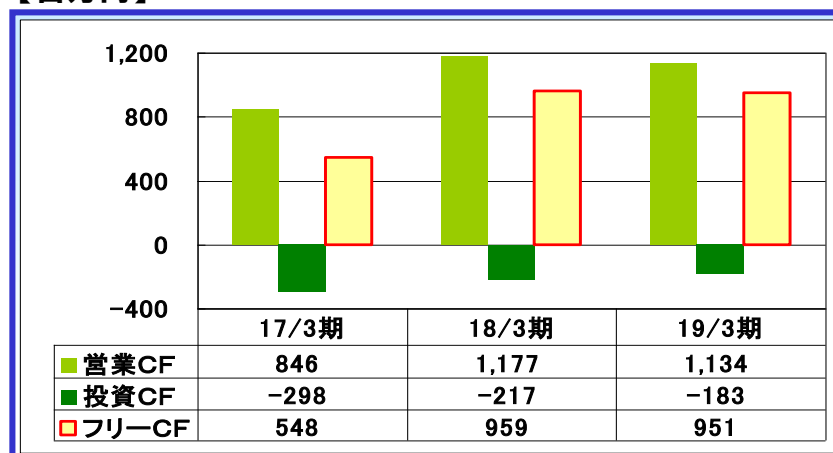
(単位:百万円)	18/3期	19/3期	増減
支払手形・買掛金	599	609	9
未払金	722	664	▲58
借入金	0	0	0

【総資産の部】	18/3期	19/3期	増減
株主資本	4,840	5,381	541
包括利益累計額	197	202	4
純 資 産 合 計	5,037	5,583	545

期末ベース	18/3期	19/3期	増減
自己資本比率	64.7%	65.9%	+1.2%

【CFの状況】	17/3期	18/3期	19/3期
営業活動によるCF	846	1,177	1,134
投資活動によるCF	▲298	▲217	▲183
財務活動によるCF	▲130	▲135	▲138
現金及び現金同等物 期末残高	2,596	3,402	4,225

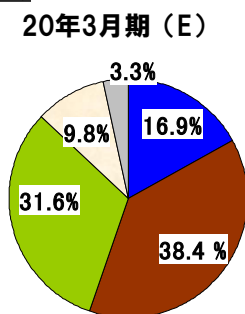
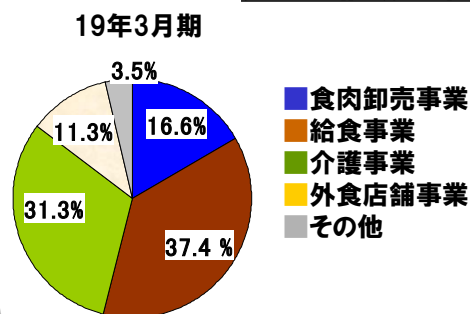
【百万円】 CFの推移(期末ベース)



2020年3月期 セグメント別売上高(予測)

単位:百万円 (切り捨て)	19/3期	20/3期(E)	前期比
■ 食肉卸売事業	3,247	3,310	1.9%
■ 給食事業	7,315	7,520	2.8%
■ 介護事業	6,127	6,189	1.0%
■ 外食店舗事業	2,205	1,926	▲12.7%
■ その他事業	679	655	▲3.5%
売上高 合計	19,574	19,600	0.1%

売上高構成比率(予測)



単位:百万円 (切り捨て)	19/3期	20/3期(E)	前期比
売上高	19,574	19,600	0.1%
売上原価	14,926	15,182	1.7%
売上総利益	4,648	4,418	▲5.0%
販売管理費	3,528	3,293	▲6.7%
営業利益	1,120	1,125	0.4%
経常利益	1,037	1,150	1.1%
当期純利益	681	683	0.2%

EPS(円)	48.6	48.7
ROE(%)	13.1	11.8
1株の配当金(円) 【配当性向】	10.0 【20.6%】	10.0 【20.5%】

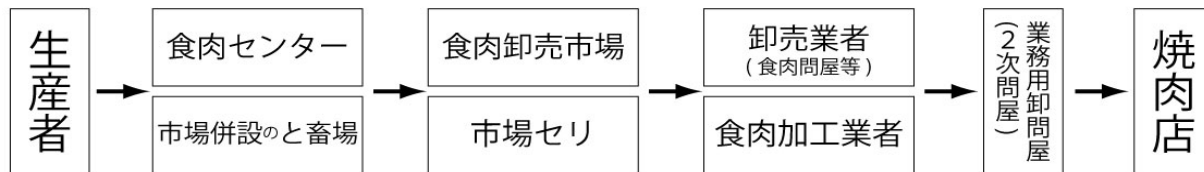
2020年3月期予想

業績計画 Point



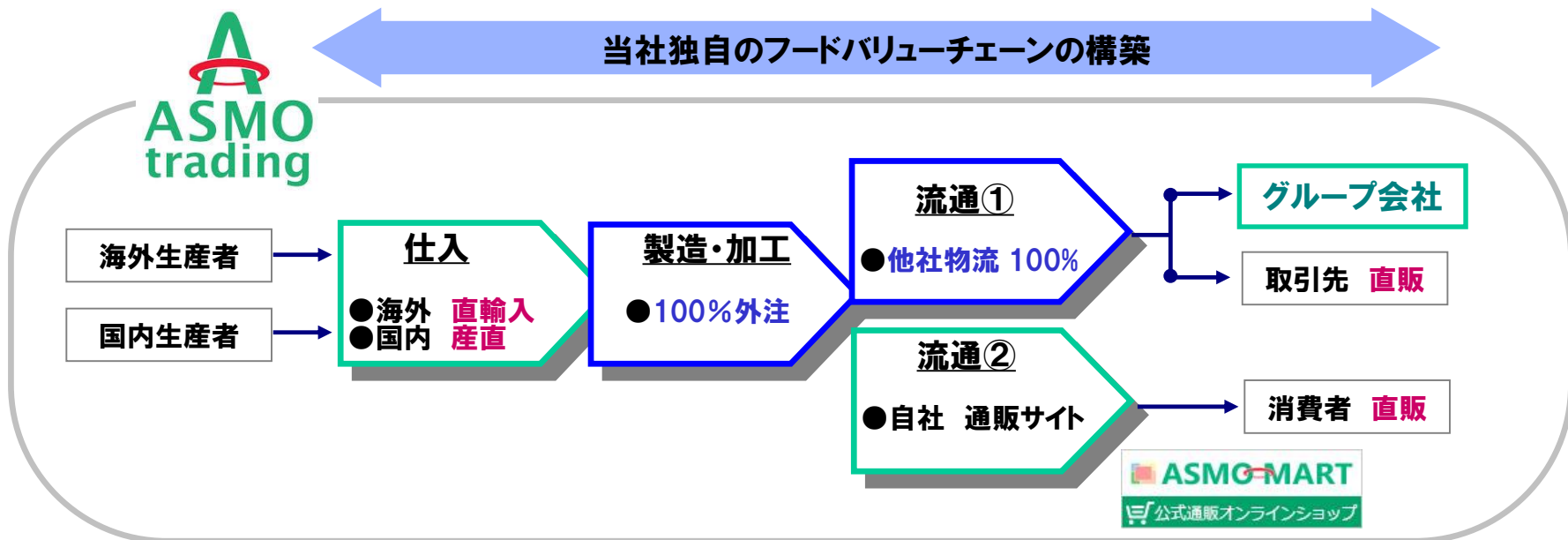
- 【1】■ 食肉卸売事業……19/3期同様に、通信販売事業とメキシコ産チルド牛肉の売上成長を予測
- 【2】■ 給食事業………19/3期に改善した営業利益率を維持しながら新規受託施設の開拓に注力
- 【3】■ 介護事業………訪問介護の収益率低下に対応できる収益体制を構築。20/3期も継続。
20/3期は、将来成長に向けた、有料老人ホーム施設の新規開発に注力
- 【4】■ 外食店舗事業……19/3期末合計17店舗の売上高予測。新規のロードサイド店舗の開発に注力。
- 【5】■ その他事業………外食(台湾)事業の2店舗閉鎖で減収。少額短期保険事業の好調で収益率は上昇

一般的な食肉卸売事業の流れ



■食肉卸売事業

当社独自のフードバリューチェーンの構築



■食肉卸売事業

Strong Point

- 【1】効率経営の徹底……………製造・物流部門を自社で持たず、経営資源を「仕入と営業」に集中
- 【2】ジャストインタイム……………他社物流100%のアウトソーシング化。適切な数量、価格、時間にお客様へご提供
- 【3】積極的な開発……………2004年6月に日本初メキシコ産冷蔵牛肉の取り扱いを開始
- 【4】高品質管理の食品……………アスモグループの各事業の※マーチャライジング(MD)政策の基盤

※マーチャライジング(MD)

「食品政策」「食品化計画」の欲求・要求に合う食品を、適切な数量、価格、タイミング等で提供するための企業活動

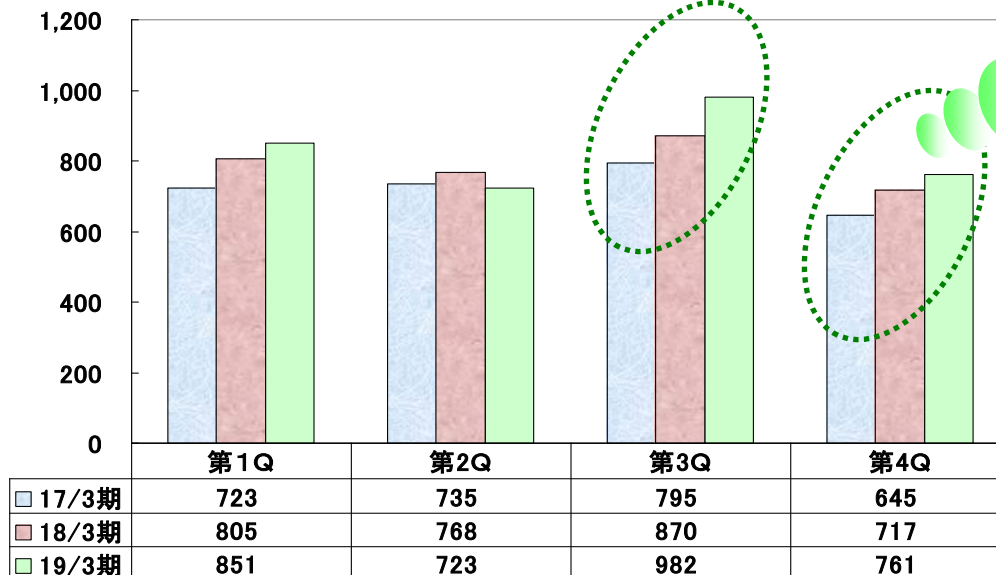
食肉卸売事業



【単位:百万円】

食肉卸売事業 直近3年間の四半期別売上高の推移

2019年3月第3Q以降
高付加価値商品が高評価



メキシコ産チルド牛肉の販売が好調



- 【1】商品価値(高品質・低価格)により顧客支持獲得
- 【2】不定期仕入を定期仕入に移行→安定供給を実現

通信販売事業で自社開発の人気商品を創出



- 【1】魅力的な商品提案と営業努力により販売先拡大
- 【2】銘柄牛を使用したギフト用商品がヒット。増産体制へ

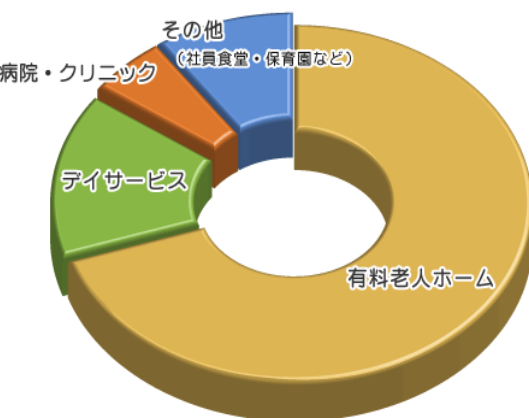
Strong Point Synergy



Strong Point

- 【1】超高齢化社会の中で「高齢者福祉施設」「病院・医療」が主要取引先で安定的成長
- 【2】女性の就業率上昇による「保育園・幼稚園」向けの需要の高まり

受託先の業種別売上高構成モデル



高齢者福祉施設
グループホーム・デイサービス
ショートステイ・ケアハウス
高齢者専用住宅・有料老人ホーム
介護老人保健施設 など



病院・医療
個人病院・総合病院
内科病院・神経科病院
精神科病院
産婦人科・障害者施設 など



保育園・幼稚園
乳幼児食
離乳食
アレルギー食
学校給食 など



社員食堂・学生食堂・寮
社員食堂
社員寮
学生食堂
学生寮 など



～活力ある企業風土を育成する～

衛生管理体制

運営管理体制

人材育成体制
【モチベーション上昇】

～働き方改革～



ASMO アスモフードサービス

受託契約数の推移

エリア	18/3期	19/3期	増減
首都圏	86	86	0
東日本	53	51	-2
中日本	56	54	-2
西日本	77	67	-10
合計	272	258	-14

衛生管理研修



マグロ解体ショー



握り寿司イベント



毎月の郷土料理シリーズ



～活力ある企業風土の育成～

- 【1】不採算取引の見直し……収益率の改善
- 【2】研修カリキュラムの充実…従業員のスキルアップ
- 【3】各種イベントの実行……モチベーションの上昇



給食事業
事業活動
Point

Strong Point Synergy

■給食事業

ASMO アスモフードサービス

介護施設向け給食

■株主第2位

ベストライフ

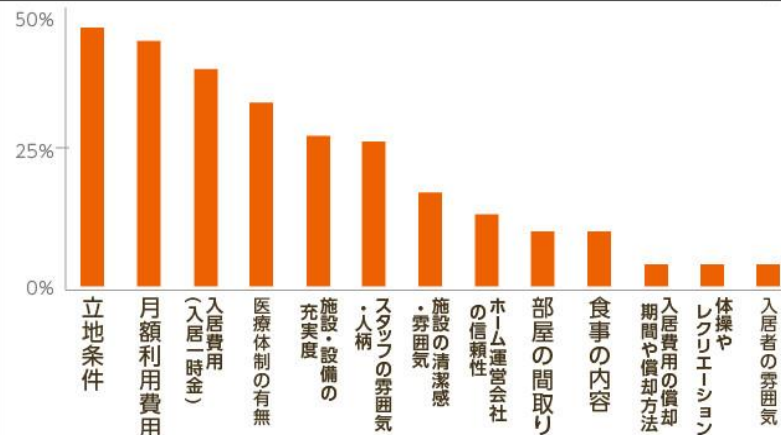
介護業界の大手
全国174施設運営



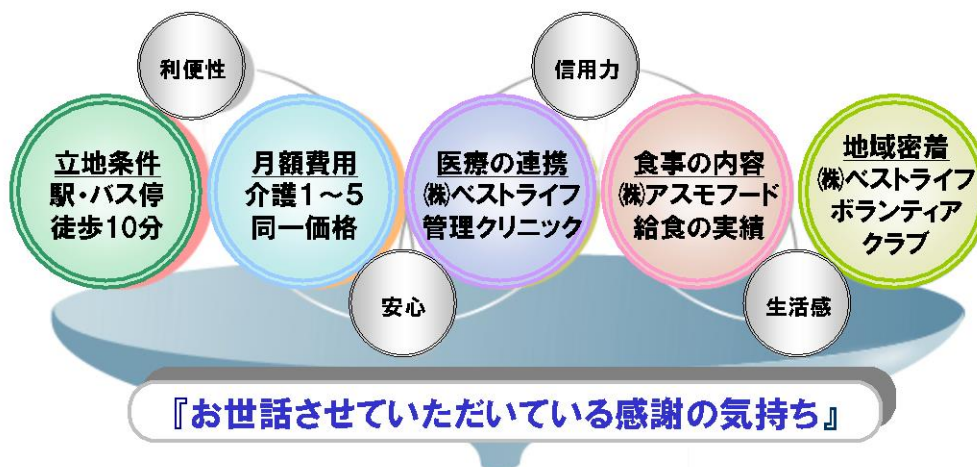
■介護事業

ASMO 株式会社アスモ介護サービス

介護施設の選択基準アンケート【出所】LIFULL介護



超高齢化社会時代の介護のプロ集団として品質を大切にしています



Strong Point

- 【1】業界大手の(株)ベストライフとFC契約を締結。ブランド力を活用して地域密着型介護を展開
- 【2】介護施設向け給食事業で培った食事面の満足度は高評価



■訪問介護事業・居宅介護事業

施設向けの訪問介護に特化



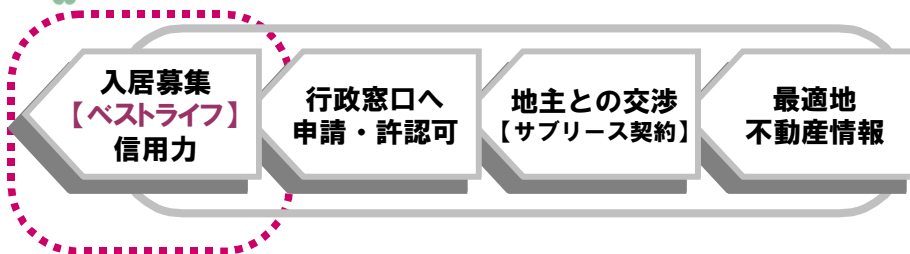
介護業界の大手ブランドの活用

■有料老人ホーム運営事業



ベストライフ

介護施設の開設までの流れ



■介護事業

2020年3月期
事業計画
Point

New

～活力ある企業風土の育成～

■ 2019年3月期『働くお母さん応援プロジェクト』を開始

離職率の低下で人材募集費の削減効果を予測

介護事業	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期
離職率	37.2%	25.9%	29.1%	22.8%

2019年3月末 現在

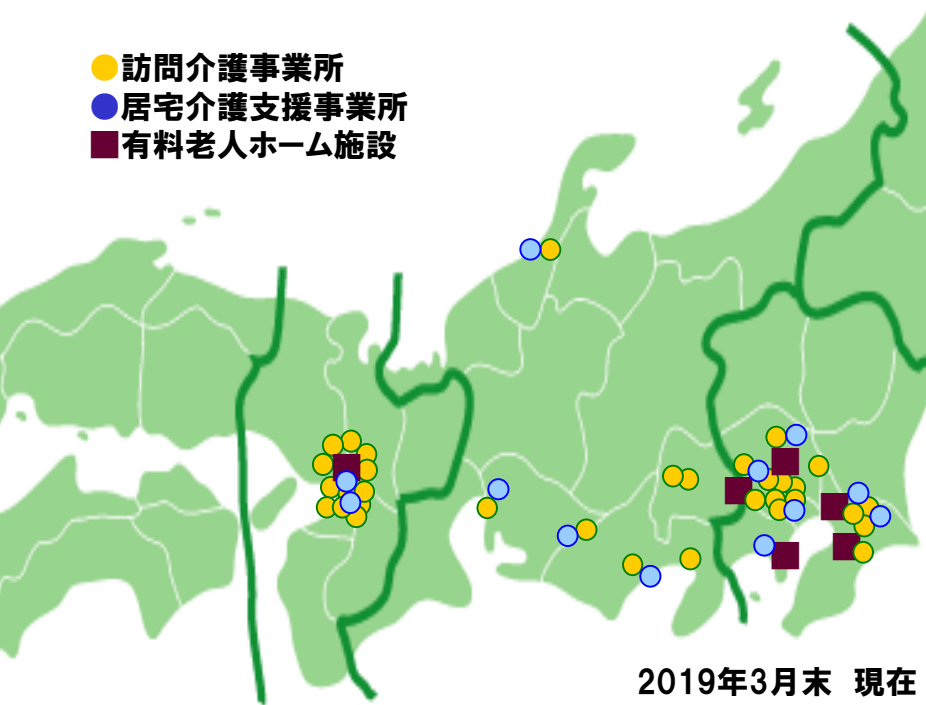
■介護事業 介護事業所数の推移

第3四半期ベース	18/3期	19/3期	増減
●訪問介護事業所	37事業所	36事業所	▲1
●居宅介護支援事業所	13事業所	12事業所	▲1
介護支援契約者	2,019名	2,017名	▲2

■介護事業 有料老人ホーム数の推移

第3四半期ベース	18/3期	19/3期	増減
■有料老人ホーム施設	6施設	6施設	—
入居者数 (入居率)	294名 (76.1%)	335名 (86.7%)	+41

- 訪問介護事業所
- 居宅介護支援事業所
- 有料老人ホーム施設



2019年3月末 現在

当社の有料老人ホーム施設

2014年10月～（千葉市）
■①ベストライフ都賀 78室



2015年4月～（船橋市）
■②ベストライフ船橋薬園台 87室



2015年8月～（川口市）
■③ベストライフ鳩ヶ谷※ 52室



2016年10月～（横浜市）
■④ベストライフ金沢文庫Ⅱ 45室



※上記施設は2017年3月から
介護付き有料老人ホームとして営業開始。

2017年4月～（東京都）
■⑤ベストライフ三鷹 64室



2017年6月～（大阪府）
■⑥ベストライフ豊中 60室



Strong Point Synergy

■ 食肉卸売事業

ASMO アスモレーティング

海外の食材調達力



■ 外食店舗事業

ASMO CATERING(H.K.)
COMPANY LIMITED 香港



香港で自社システムキッチンの構築ができる強みを活用！



香港の自社システムキッチン



香港に17店舗

Strong Point

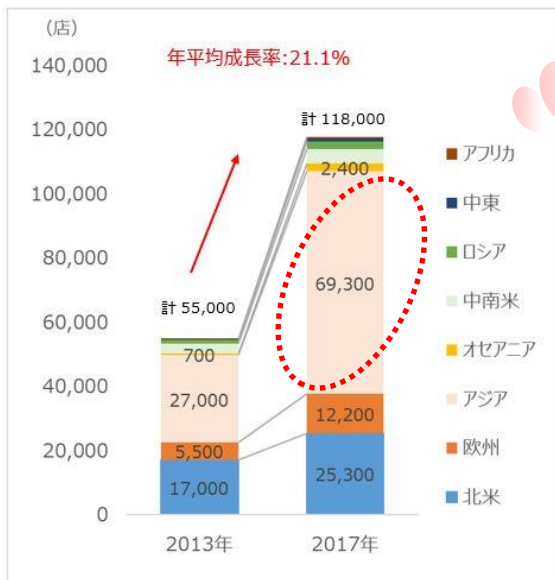
香港で日本食専門店として 豊富な料理ジャンルをご提供できるトップクラス企業

2019年3月末 現在

メニュー	天麩羅・鮨・うどん	うどん・すき焼き	和惣菜	パスタ・オムレツ
店舗名	銀座 神楽屋	うどん屋 今助	彩 SAYA JAPANESE DELICATESSEN 和惣菜	Cafe Restaurant KORE KITAHOZAKA 神北 北の坂
店舗数	1店舗	2店舗	1店舗	3店舗
メニュー	お好み焼き・たこ焼き	お好み焼き・たこ焼き	ラーメン・カツ丼・カレー	
店舗名	五王 承吉	都島屋 MIYAKOJIMA-YA	元祖 炭 和風食堂 とら蔵	
店舗数	5店舗	1店舗	4店舗※	

※2019/3期 「和風食堂 とら蔵」を新規に3店舗オープン

世界の日本食レストラン店舗数の推移



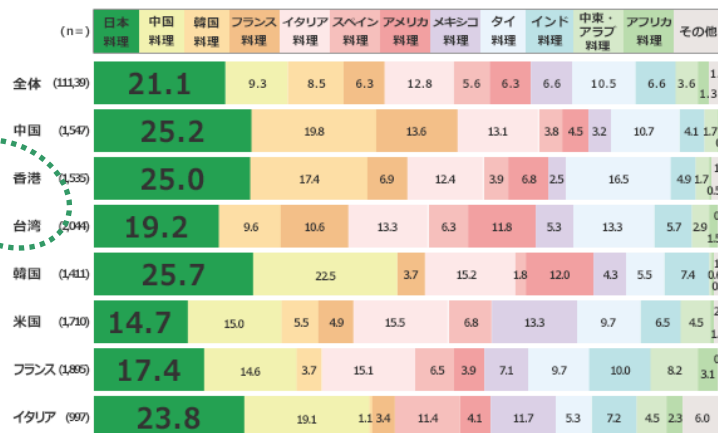
【出所】外務省調べ、農林水産省推計

日本食のアジア拡大の理由

- (1)2013年「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録
- (2)アジア地域の所得水準が高まった
- (3)日本を訪れた観光客が日本通化している

質問:「好きな料理かつ外食で食べる外国料理はどれですか(複数回答可)」

※本設問においては、実施国の料理は選択肢から除外。※(n=)は回答数



【出所】農林水産省

外食店舗事業



豊富な日本料理ジャンルの提供

- 【1】1985年5月から香港の現地法人が外食店舗事業を継続。高い信用力
- 【2】香港で自社システムキッチン構築
- 【3】香港は日本食品の輸出が急拡大による日本食材が確保しやすい

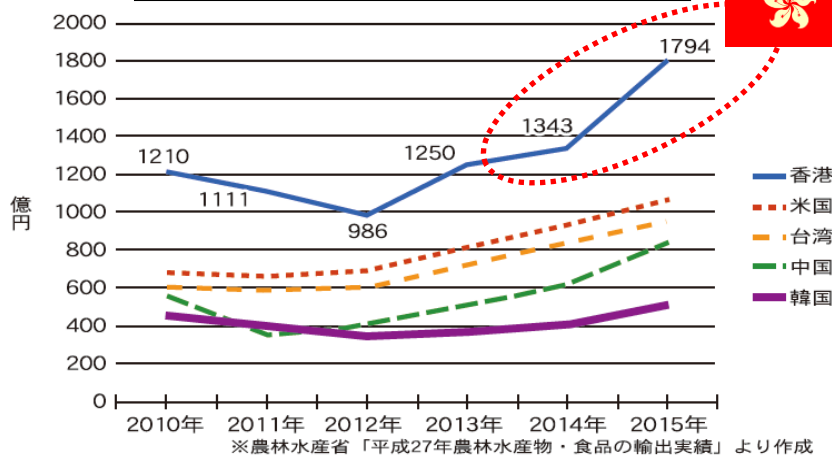
済

「外国人の日本食ランキング25」

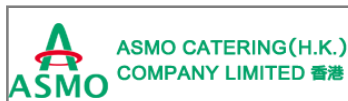
- | | |
|-------------|--------------|
| 1 トンカツ | 14 納豆 |
| 2 寿司 | 15 焼鳥 |
| 3 チラシ丼 | 16 お好み焼き |
| 4 天ぷら | 17 味噌 |
| 5 ラーメン | 18 タコライス |
| 6 和牛 | 19 鍋 |
| 7 手打ち蕎麦 | 20 卵焼き/だし巻き卵 |
| 8 讃岐うどん | 21 たい焼き |
| 9 日本風カレーライス | 22 蒲焼 |
| 10 餃子 | 23 お茶漬け |
| 11 焼き芋 | 24 抹茶サンデー |
| 12 たこ焼き | 25 牛タン |
| 13 おにぎり | |

出所:米国CNN

日本の食品における地域別輸出額の推移



外食店舗事業



※上記はイメージ画像

2019年3月期

『店舗立地』見直し



※上記はイメージ画像

外食店舗事業

香港の不動産価格高騰の対応

百貨店内店舗からロードサイド店舗への移行

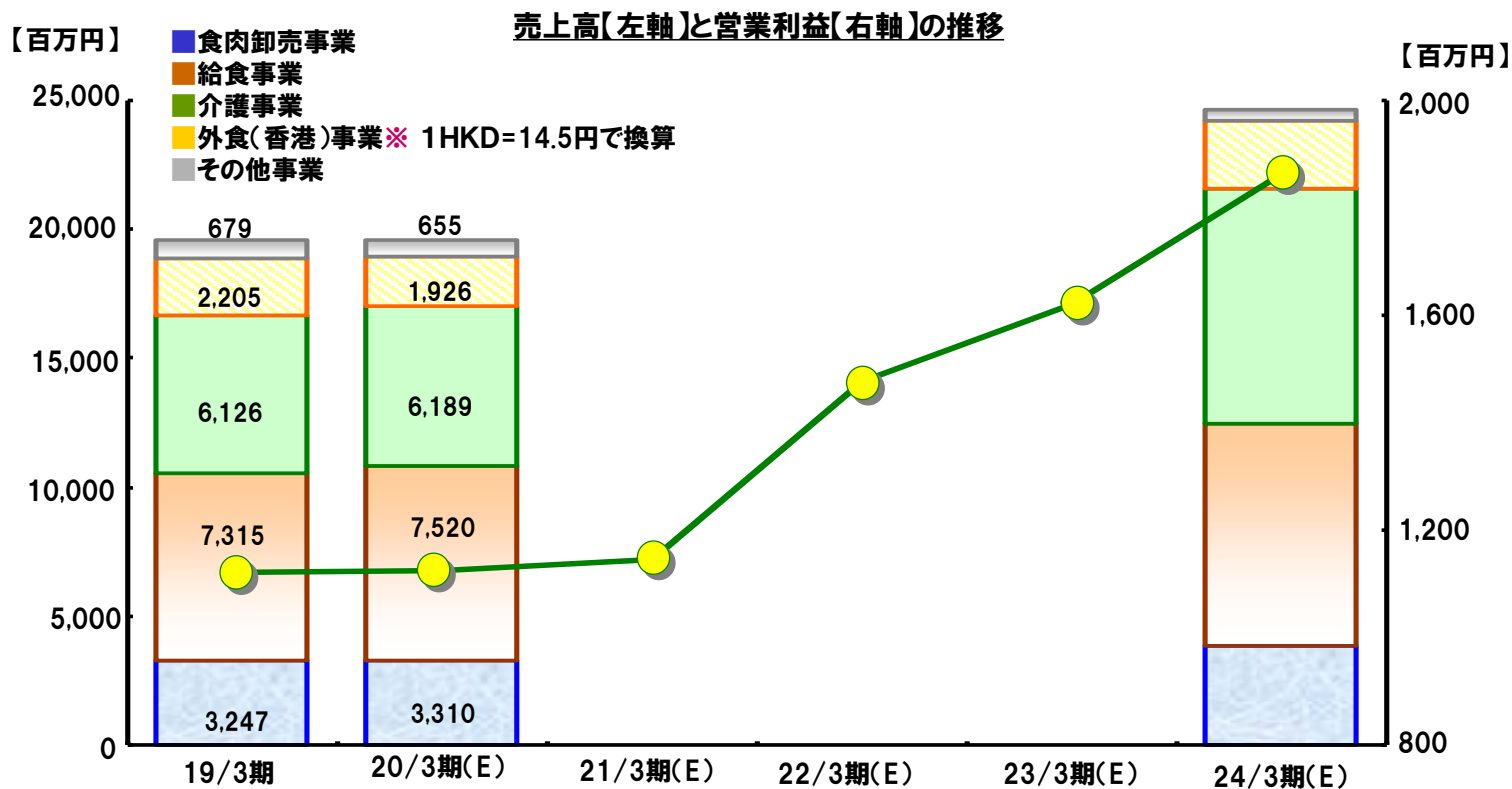
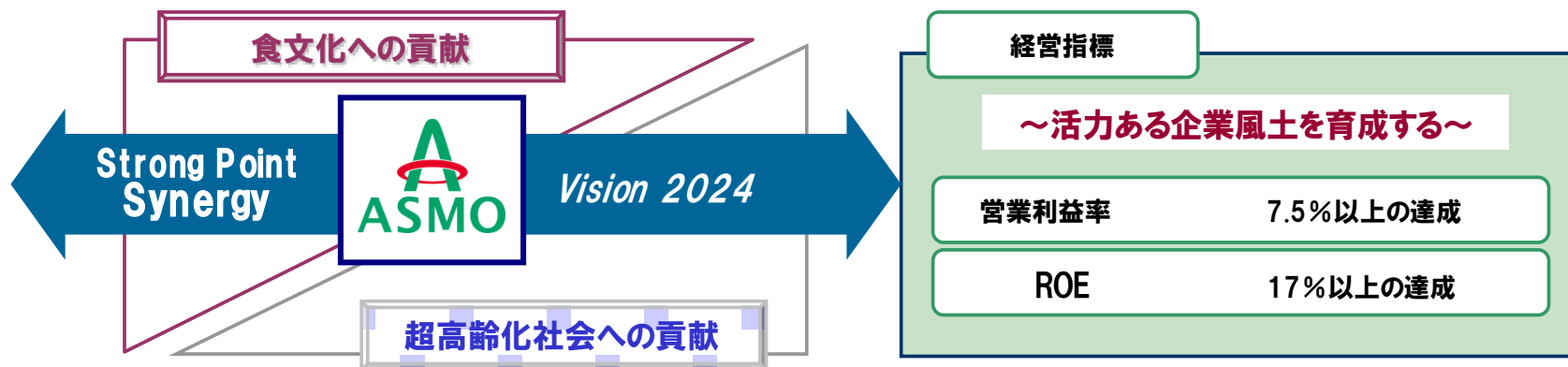
『※和風食堂 とら蔵』が好評で3店舗オープン

※「和風食堂 とら蔵」の主なメニューは、ラーメン、カツどん、牛丼、ちらし寿司、和風カレー等

香港の店舗数	18/3期	19/3期	増減
百貨店 店舗	20	14	▲6
ロードサイド 店舗		3	+3
合計	20	17	▲3



事業計画
Point



ご注意:上記の中期利益計画は現在の当社の目標であり、確約するものではありません。



各事業の“ストロングポイント”を的確に見極め、“各事業間のシナジー”を最大限に発揮



お問い合わせ

ir@asmo1.co.jp



本社：〒105-0013 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル25階
TEL. 03-6911-0550 FAX 03-6911-0551

本資料は、2019年3月期決算の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。
また、本資料は2019年6月10日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、情報の正確性、安全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。